1603 M183

据付説明書（販売店・工事店用）

HITACHI
Inspire the Next

日立レンジ用フードファン（原寸大型紙）

HS-60BQ₈-M形

■安全上のご注意

⚠ 警 告

- 交流100Ｖ以外では使用しない
  - ●火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100Ｖ専用コンセントを使用する
  - ●火災・感電の原因になります。
- アースを確実に取り付ける
  - ●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付ける
  - ●漏電した場合、発火することがあります。

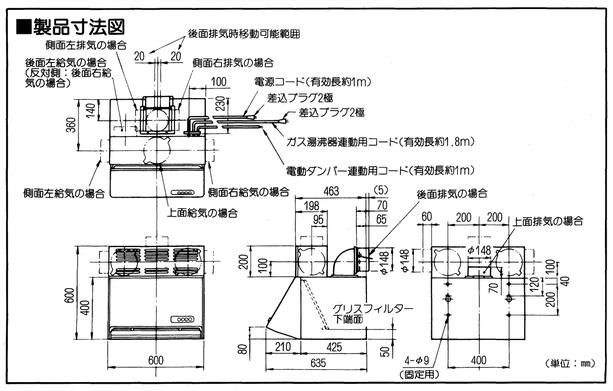
⚠ 注 意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない（浴室用換気扇をお使いください）
  - ●感電及び故障の原因になります。
- 本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
  - ●落下により、けがをすることがあります。
- 天井には取り付けない
  - ●落下により、けがをする恐れがあります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
  - ●誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

取り付け前の調査と準備

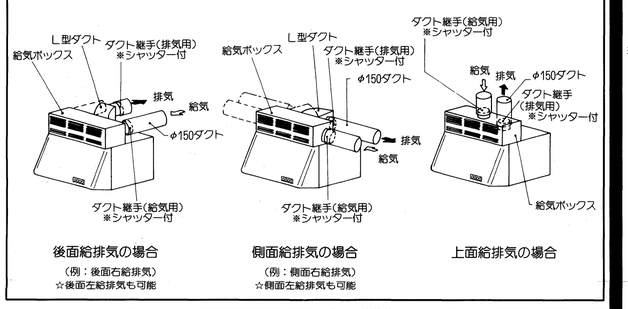
- **取り付け面の強度確認** …… 製品を支える強さが必要です。（製品重量 19.5kg）
  製品の重量を支持できる丈夫なところに取り付けてください。
  - **■板張りの場合**
    - ●板厚が20㎜以上の場合は直接板に取り付けてください。
    - ●板厚が20㎜以下の場合は壁に補強板を埋め込み補強板にレンジ用フードファンを取り付けてください。
  - **■コンクリート、タイル壁の場合**
    - ●あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
  - **■土壁の場合**
    - ●柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。
- **別売部品の準備**
  排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

■製品寸法図

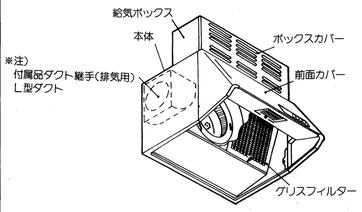


■強制排気ー自然給気の組み合せ（強制排気のみでも使用可能です。）

●この製品は、建物の状況に応じて下図の給排気組み合わせができます。



■各部名称



※注）
●付属品のダクト継手(排気用)
L型ダクトは本体内部に同梱してあります。

取り付け時のご注意（排気工事をされる場合建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせ施工ください。）

1. レンジ用フードファンの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。
2. 製品はガステーブルの真上に取り付けてください。なお、この製品の標準取付高さは、80cmに設定してあります。（図1）
3. ガステーブルの幅は60cm以内のものをご使用ください。
4. 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご使用しないでください。
5. レンジ用フードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。
   湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。（図2）
6. 建物が密閉されている場合は必ず空気取入口を設けてください。（図3）
7. 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。（図3）
8. スイッチ改造等仕様を変更してのご使用は絶対におやめください。
9. 電源は専用コンセントを設けてください。

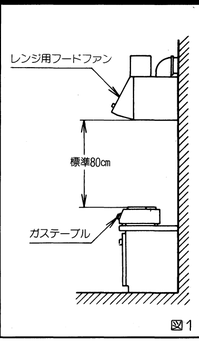


図1

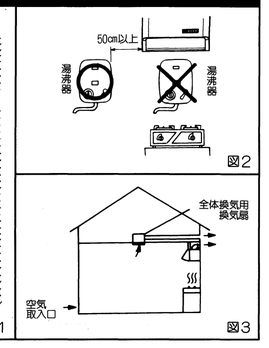
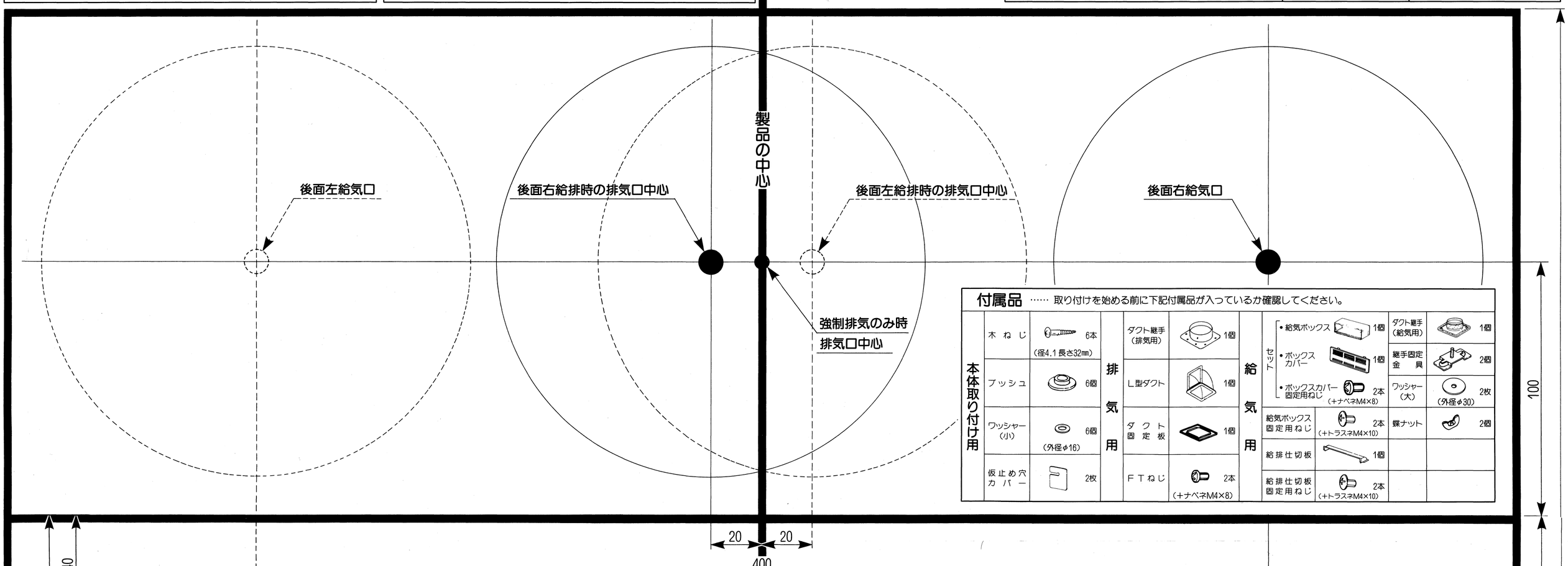


図2

図3



付属品 …… 取り付けを始める前に下記付属品が入っているか確認してください。

本体取り付け用	木ねじ	6本（径4.1 長さ32㎜）	排気用	ダクト継手（排気用）	1個	給気用	セット：給気ボックス	1個	ダクト継手（給気用） 1個
	ブッシュ	6個		L型ダクト	1個		セット：ボックスカバー	1個	継手固定金具 2個
	ワッシャー（小）	6個（外径φ16）		ダクト固定板	1個		セット：ボックスカバー固定用ねじ	2本（＋ナベネM4×8）	ワッシャー（大） 2枚（外径φ30）
	仮止め穴カバー	2枚		FTねじ	2本（＋ナベネM4×8）		給気ボックス固定用ねじ	2本（＋トラスネM4×10）	蝶ナット 2個
							給排仕切板	1個	
							給排仕切板固定用ねじ	2本（＋トラスネM4×10）	

取 り 付 け 方 法

1．本体の準備

(1) コネクターカバーをはずします。
コネクターカバー固定用ツマミをゆるめ、コネクターカバーを上にあげます。（図4）
(2) コネクターをはずします。
①のツメ部を押しながら、②の方向へ引き抜きます。（図4）
(3) 前面カバーをはずします。
前面カバー固定用ツマミ（左、右）をゆるめて、前面カバーを手前に引いて引掛部よりはずします。（図4、図5）
(4) グリスフィルターをはずします。
フィルターツマミを持って上にあげ、手前に引きます。（図6）
(5) 付属品のダクト継手(排気用)、L型ダクトを取り出します。
本体内の左隅に付属同梱してあるダクト継手(排気用)、L型ダクトを取り出してください。

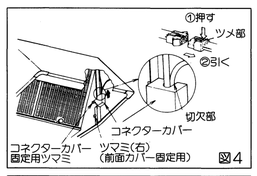


図4

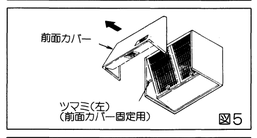


図5

2．給排気方向の決定及びダクト(φ150)セット

(1) 製品寸法図を参照し、給排気方向を決めてください。
(2) φ150のスパイラルダクト、又はステンレスダクトを準備してください。
(3) 給排気ダクトを、下図の位置に応じてセットし、周囲を仕上げてください。（図7）

ご注意
排気ダクトと給気ダクトのセット寸法間隔は、220㎜ですので、屋外に取り付けるウエザーカバーなどの幅は、220㎜以下のものをお勧めします。
なお、セット寸法間隔と同一幅のウエザーカバーなどをご使用の場合には、あらかじめウエザーカバーなどを取り付け、セット寸法間隔を確認してください。

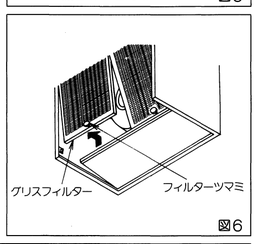


図6

■排気ダクトセット寸法　■給気ダクトセット寸法

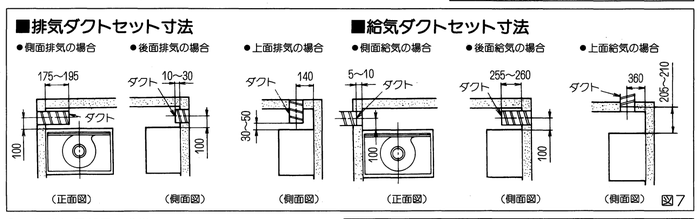


図7

3．給排気用部品の準備

■給気用部品の準備

(1) 給気ボックスの中に同梱してあるダクト継手（給気用）と給排仕切板を取り出してください。
(2) 給気ボックスからボックスカバーをはずします。（図8）
(3) 使用する給気穴を、小形のハンマーで強くたたき打ちます。（図9）

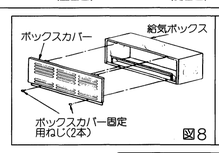


図8

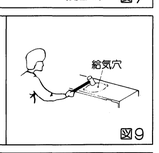


図9

■排気用部品の準備

1．の(5)項で取り出したダクト継手(排気用)とL型ダクトを準備してください。
ダクト継手(排気用)の調整ねじ2本をゆるめて前後左右に動くようにしてください。（図10）

- **●上面排気の場合**
  - ・L型ダクトは不要です。
  - ・本体のダクト継手(排気用)取付部にあらかじめ止めてある取付ねじ(2本)は、不要ですので取りはずしてください。
  - ○ダクト継手(排気用)を直接本体に取り付けます。
    ダクト継手(排気用)は本体上面の差込部に差し込み、付属のFTねじ2本で取り付けてください。（図11）
- **●側面排気の場合**
  - ○ダクト継手(排気用)とL型ダクトを組み立てます。
    ダクト継手(排気用)は、L型ダクトの差込部に差し込み付属のFTねじ2本で取り付けてください。（図12）
- **●後面排気の場合**
  (1) ダクト継手(排気用)とL型ダクトを組み立てます。
  ダクト継手(排気用)は、L型ダクトの差込部に差し込み付属のFTねじ2本で取り付けてください。（図13）
  (2) L型ダクトに、ダクト固定板を挿入します。
  L型ダクトの長穴とダクト固定板の長穴部を合わせ、L型ダクト内に、ダクト固定板の凸部を挿入してください。（図13）

図10

図11

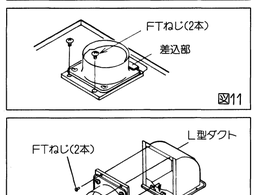


図12

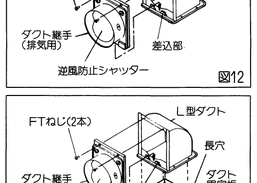


図13

4．本体の取り付け

ご注意
上面排気の場合はダクトにダクト継手を差し込みながら本体を取り付けてください。

(1) 本体仮止め用木ねじをねじ込んでください。
本体仮止め位置（左右各1か所）に、木ねじ（4.1×32）にワッシャーとブッシュを通し壁面との隙間約5㎜まで締め付けてください。（図14）
(2) 本体仮止め用木ねじに本体を引掛けた後、本体取付用木ねじ（4.1×32）にワッシャーとブッシュを通し、本体取付用木ねじ位置（4か所）にしっかり締め付けてください。（図15）
(3) 本体仮止め用木ねじ（左右各1か所）のワッシャーとブッシュ間に「仮止め穴カバー」を挿入してください。（図16）
(4) 本体仮止め用木ねじ(左右各1か所)をしっかり締め付けてください。

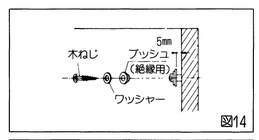


図14

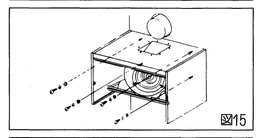


図15

5．ダクトと排気用部品の接続

ご注意
テクスねじなどでダクト継手(排気用)を固定する場合はシャッターにねじが当たらないよう図17の テクスねじ使用範囲 内に固定してください。

- **●上面排気の場合**
  3項でゆるめた調整ねじをしっかり締め付けた後、風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行なってください。（図18）
- **●側面及び後面排気の場合**
  ご注意 ・側面排気の場合には、ダクト固定板は不要です。
  ・後面右給排気組み合わせの場合はダクト固定板を⇨方向へ、後面左給排気組み合わせの場合はダクト固定板を➡方向へ押しつけてください。（図19）
  (1) L型ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、ダクト継手(排気用)をダクトに挿入し取付ねじ2本で取り付けてください。
  （取付ねじは、あらかじめ本体のL型ダクト取付部に止めてありますのではずしてご使用ください。）
  (2) 3項でゆるめた、調整ねじをしっかり締め付けた後、風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行なってください。

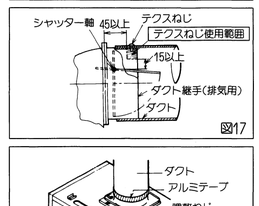


図17

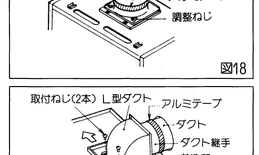


図18

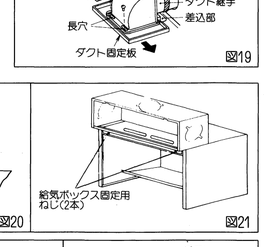


図19

6．給気ボックスの取り付け

(1) 給気ボックスの後部端面を、本体上面の挟持部に差し込みます。（図20）
(2) 給気ボックスを給気ボックス固定用ねじ（2本）で本体に固定します。（図21）
(3) 給気ボックス内より、ダクトとダクト継手(給気用)の接続を行います。
- ●給気穴の溝部に継手固定金具を押し込み、ツメ部と当て部で鋼板を挟みセットします。（図22）
- ●ダクト継手(給気用)をダクトに挿入した後、付属のワッシャー(大)と蝶ナットで固定してください。（図23）

(4) 給排仕切板を給排仕切板固定用ねじ（2本）で給気ボックス内に取り付けます。（図24）
(5) ボックスカバーをボックスカバー固定用ねじ(2本)で給気ボックスに取り付けます。（図25）

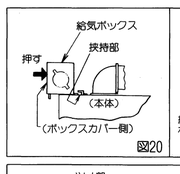


図20

図21

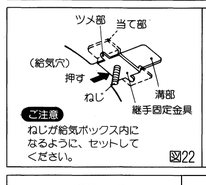


図22

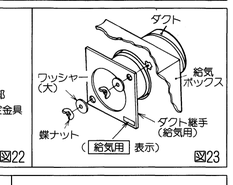


図23

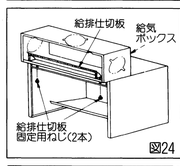


図24

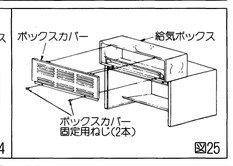


図25

7．組み立て

分解と逆の順序で組み立てます。

8．配線工事

■ガス湯沸器と連動運転する場合

○このレンジ用フードファンは、市販の換気扇連動スイッチを使用してガス湯沸器と連動運転することができます。
ご注意 ・ガス湯沸器は、換気扇連動形とそうでない場合により、換気扇連動スイッチは異なります。（図26）
●工事については、ガス供給業者（ガス会社）にご相談ください。また、配線は電気設備技術基準・内線規定に従ってください。

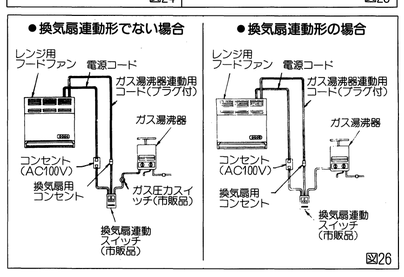


図26

■電動ダンパーと連動する場合

○このレンジ用フードファンは、運転中、AC100Vを出力できる電動ダンパー連動用コードが設けてあります。（図27）
電動ダンパーと連動する場合は、電気設備技術基準・内線規定に従って電動ダンパーと接続ください。

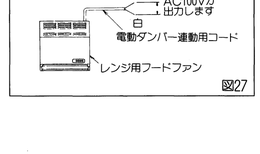
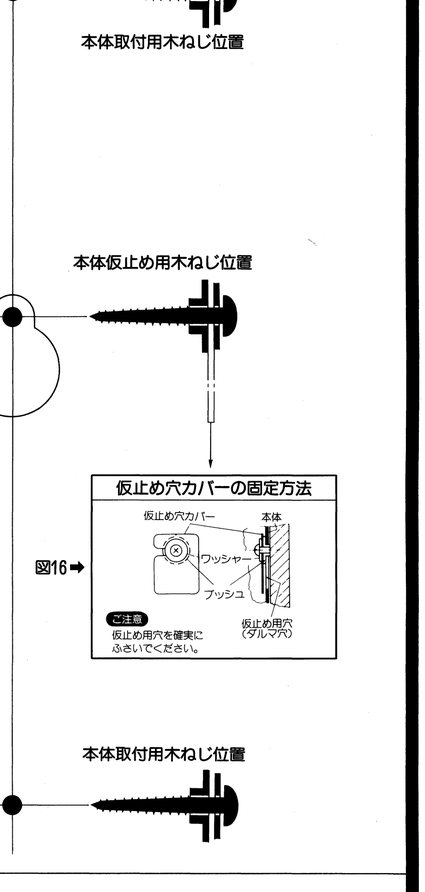


図27

9．試 運 転

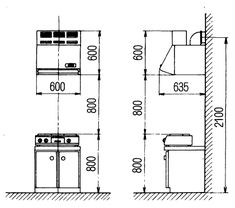
(1) スイッチのボタンを押し、弱 強 運転および ランプ の点灯状態を確認してください。
(2) 次に、ガス湯沸器との連動運転を確認してください。
- ●スイッチを 切 にして、ガス湯沸器を使用すると「強」で運転し、ガス湯沸器を止めると、レンジ用フードファンも停止するか確認してください。
- ●スイッチを 弱 にして運転し、ガス湯沸器を使用すると「強」に切り換わり、ガス湯沸器を止めると元の「弱」にて運動するか確認してください。

(3) 上記の運転中は電動ダンパーのダンパーが開放し、停止中は電動ダンパーのダンパーが閉じるか確認してください。

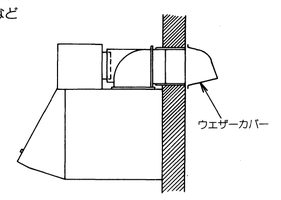


取り付けの応用例

○レンジフードファンの標準取付寸法例



○風雨が直接あたる所では、別売品ウエザーカバーなどを取り付けてください。



600

取扱説明書・据付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

注意：この型紙は湿気の影響で2～3㎜誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム
〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

日立ライティング株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255